

JR北海道 札幌駅 在来線改札内



トイレ入口



北海道の玄関口にして最大の拠点駅である「JR札幌駅」がリニューアルを実施。その一環として、在来線改札内のトイレを移転・改修。出入口には、北海道芸術デザイン専門学校生制作のアートフラワーが飾られている。



トイレ案内図

トイレ入口付近に、音声案内や点字が盛りこまれた案内図を掲示。多機能トイレなどの位置や各トイレに設置している器具が表記され、わかりやすく利用できるように工夫がなされている。



女性トイレ 全体

トイレの内観は、男女別トイレともに、洗練されたイメージで統一。通路幅が広く確保され、大きな荷物を持った観光客にも使いやすい、広々とした空間となっている。



女性トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーは、2段のカウンターでドライエリアを設け、荷物の置き場所に配慮したツインデッキ(ボウル一体タイプ)を採用。1ヶ所は車いす使用者に配慮し、足元に空間を設け、手すりも設置している。



女性トイレ 洗面コーナー

改修により、水せっけんが補給しやすい引き出しの設置やリアルタイムでの不具合確認や効率的な維持管理サポートを実現する「TOTO CONNECT PUBLIC」を導入。管理者や清掃者への配慮も充実させた。



女性トイレ スーツケース置き場



洗面コーナーの後方には、大きな荷物を持った旅行者に配慮して、スーツケース置き場を用意。インバウンドも意識し、すべてのコーナーには、わかりやすいピクトサインを用いた、案内が表記されている。



女性トイレ パウダーコーナー

洗面コーナーの混雑緩和や化粧直しのしやすさに配慮し、広いパウダーコーナーを完備。顔映りのよい照明計画とともに、カウンターの下には、荷物をかけられるフックやベビーカー置き場が用意されている。



女性トイレ 大便器コーナー

大便器ブースは、旅行者への配慮として、スーツケースが持ち込みやすい折れ戸を採用、十分な広さも確保している。また、満空状況が視認しやすいよう、折れ戸の内外面に異なる面材を採用している。



女性トイレ 大便器コーナー



大便器は清掃性のよい壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式を採用。男女別トイレとも全ブースに手すりを設置している。フックも2ヶ所に設置され、荷物が多くても安心して利用できる。



女性トイレ 広めのブース

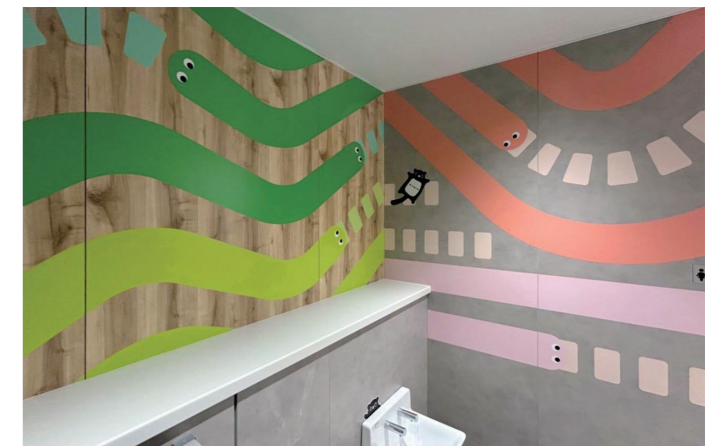


乳幼児連れに配慮した広めのブースを、男女別トイレそれぞれに設置。ベビーチェアに加え、パンツタイプのおむつ替えに便利なフィッティングボードも用意され、わかりやすいピクトグラムも掲示している。



女性トイレ キッズトイレ

キッズトイレを新設。明るく楽しい空間には、お子様の自立をサポートする幼児用大便器と幼児用小便器を採用。大便器横には大人が見守れる高さの仕切りを設置。手洗器もお子様自身が手洗いできる高さに設置した。



女性トイレ キッズトイレ

壁面デザインは、線路の上を走る列車をモチーフとしたストライプ柄とし、JR北海道の交通系ICカード「Kitaca」のキャラクター「エゾモモンガ」を各壁面に1匹だけ、お子様が使用時に「探す楽しさ」を体感できる。

JR北海道 札幌駅 在来線改札内



男性トイレ 洗面コーナー



男性トイレの洗面コーナーは、向かい合わせに2ヶ所の設置。1ヶ所は車いす使用者に配慮し足元に空間を設け、手すりも設置している。ハンドドライヤーは清掃性を配慮し、壁埋込タイプを採用した。



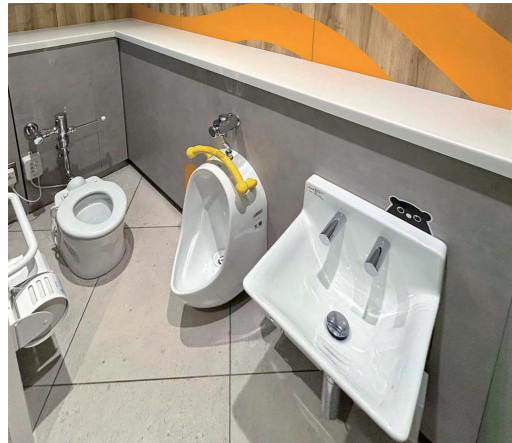
男性トイレ 洗面・パウダーコーナー

多様化するニーズへの対応や、洗面コーナーの混雑緩和のため、男性トイレにJR北海道では初となるパウダーコーナーを設置。また、洗面エリアと便房エリアの床タイルを貼り分けることで、利用動線を明確にしている。



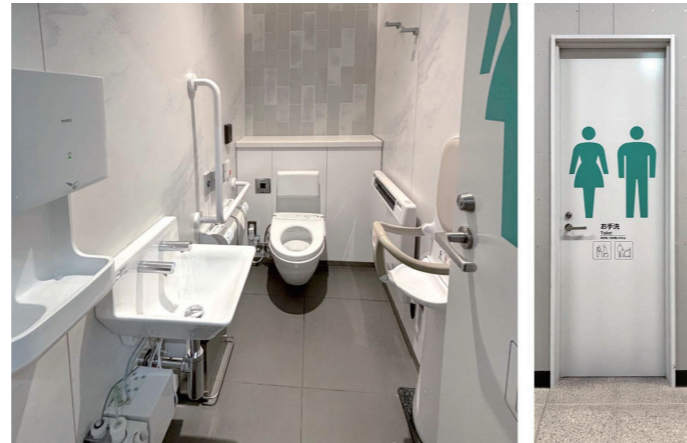
男性トイレ 小便器コーナー

小便器は、定期的な排水洗浄を行う自動洗浄小便器を採用。さらに、におい対策として便器横に巾木換気を設置。木彫り柄の壁面に間接照明が反射し、北海道らしさを感じさせる、清潔感ある美しい空間を演出している。



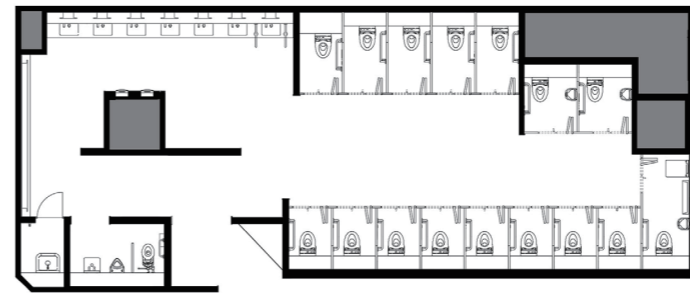
男性トイレ キッズトイレ

男性トイレにも独立したキッズコーナーを設置。女性トイレ同様お子様の自立をサポートする幼児用大便器・幼児用小便器と、お子様が自分で手洗いのできる高さに設置された手洗器が設けられている。

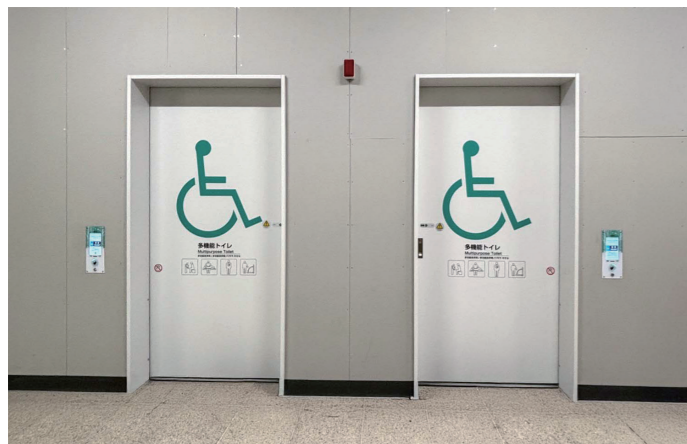


共用トイレ

利用者がトイレを選ぶよう配慮し、男性トイレ、女性トイレ、多機能トイレとは別に、性別を問わずに使用できる、個室完結型の共用トイレを設けている。



女性トイレ図面



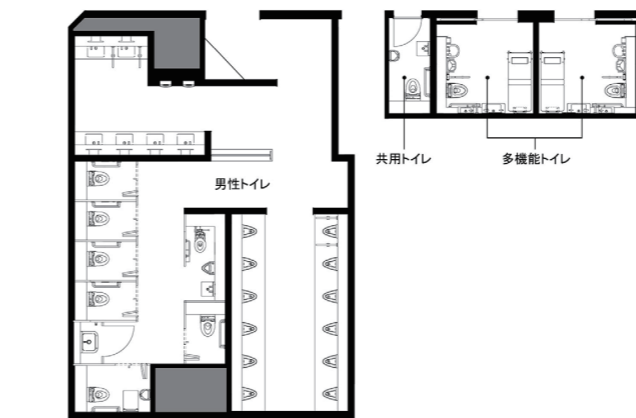
多機能トイレ 入口

左右勝手違いで2ヶ所の多機能トイレを設置。扉は、手をかざすことで開閉できる自動式を採用し、扉全面に遠くからでもわかりやすいよう、大きなピクトグラムが表記されている。



多機能トイレ

車いす使用者が回転できる広さを確保した、多機能トイレ。オストメイト、おむつ交換や衣類の着脱・自己導尿などで大人が横になれるパブリック折りたたみシート、ベビーチェアも設置している。



トイレ図面

水まわりの特長

改修の経緯

「札幌駅」は、北海道最大のターミナル駅。このたび、北海道新幹線札幌延伸に伴い、新幹線駅の新築と在来線駅の改修を実施。在来線駅は、1988(昭和63)年の高架化から36年経過し、設備の老朽化が見られることから、駅全体のリニューアル工事を進めている。道内だけではなく、国内外から来道するお客様にも使いやすく快適な駅にするため、リニューアルの概要は、駅北側の外観改良、駅機能の再配置やエキナカ商業施設の拡大など、お客様の利便性向上と環境に配慮している。以前は2ヶ所に配置されていた改札内トイレを1ヶ所に集約し、2024(令和6)年12月に男性トイレ、2025(令和7)年3月に女性トイレをリニューアル。「札幌駅」は、北海道の新たな玄関口としてふさわしく生まれ変わろうとしている。

トイレの特長

旧改札内トイレは前回の改修から11年経過し、清掃性が悪く、においの問題のほか、待ち列がわかりづらいなどの課題があった。改修にあたっては、利便性や維持管理についてJR北海道建築社員全体でアイデアを出し合い、利用者が使いやすいトイレとなるよう配置計画や設備更新を実施。設備配管や清掃労力の低減、器具数を維持しながらゆとりを持った空間を創ることを目標とした。コンセプトは「迎え入れる「温かみ」のあるトイレ」。白と木目の色調で全体に清潔感と温かみを持たせ、手洗いの照明は車両をイメージした形状とするなど、JR北海道らしさを演出。さらに、キッズトイレや男性トイレのパウダーコーナー新設、個室完結型の共用トイレ設置など、さまざまなお客様が利用しやすいトイレへと整備された。

建築概要

名称	JR北海道 札幌駅 在来線改札内
所在地	北海道札幌市北区北6条西4-1-1
施主	北海道旅客鉄道株式会社
設計	株式会社JR東日本建築設計
施工	鉄建・札建 札幌駅新幹線高架橋支障移転工事 特定建設工事共同企業体

竣工年月	(改修)2025年3月
建築面積	188.8㎡(トイレ)
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地下1階・地上2階

おもなTOTO使用機器

- 壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式:UAXC1CS2AN
- ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5831Y特
- ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5841P、TCF5841AUP
- 自動洗浄小便器:UFS900JS
- ツインデッキ(ボウル一体タイプ):MKWE
- 壁掛ハイバック洗面器:LSA125CC
- 自動水栓一体形電気温水器:REAH03B1RS125A
- 自動水石けん供給栓:TLK06S01JA特
- クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC600
- コンパクト・バリアフリートイレバック:UADBK61R1A1ADD1WA
- パブリック用折りたたみシート:EWC500RN
- 背もたれ:EWC371特
- フィッティングボード:YKA41R
- 幼児用大便器:CS300B
- 幼児用小便器:U310GY
- パブリック用流し:SK22A
- TOTO CONNECT PUBLIC ゲートウェイ:TYSG1000 V1